

陳情第93号	受理年月日	平成27年6月19日
付託委員会	教育水道委員会	
陳情者	八幡西区竹末一丁目8-8 北九州市立幼稚園8園の存続を願う会 会長 塚田 豊二	
件名	H27.7. 2:9,220名署名追加 H27.8.10: 732名署名追加 H27.8.12: 36名署名追加 北九州市立幼稚園の発展的存続について	
要旨	<p>北九州市立幼稚園8園の存在は、教員免許を取得された経験豊富な先生方による次代の社会を担う幼児の健やかな心身の発達を助長するための教育施設である。幼児期は、知的・感情的な面や人間関係の面で、日々急速に成長する時期でもあるため、この時期に経験しておかなければならないことを十分に行わせることが不可欠である。我々大人は、幼児期における教育の重要性を認識し、子供の育ちについて常に関心を払うことが必要である。</p> <p>財政難・核家族化・少子化など子供を取り巻く環境が決してよいとは言えない現代社会の中で、市立幼稚園は文部科学省の幼稚園教育要領にのっとり、より質の高い幼児教育を目指し、日々研究実践を行っている。</p> <p>全国的に厳しい財政状況から、行財政改革という名のもとに公立幼稚園の統廃合の流れが加速している。しかし、教育は未来を担う子供たちへの投資であり、それは将来の北九州市への投資でもある。幼稚園教育のあり方を検討するには、国や県の方針、他都市の状況、本市の財政や教育計画、市民ニーズなど、さまざまな観点からの検討が必要なことは言うまでもない。各自治体では、幼小連携、認定こども園、幼保一元化、特別支援教育、研究実践校化など、さまざまな形が模索されている。教育者や保護者など地域の教育・保育要求を十分に聞き、これまでの教育・保育実績を正當に評価した上で、子育て支援を強める方向性を持って市立幼稚園を存続させることが北九州市の責務であると考えます。</p> <p>ついては、全ての幼児が恵まれた環境のもとで適切な教育が受けられるよう、下記のとおり措置していただきたい。</p>	

(続 く)

記

1 市立幼稚園で培われた教育のあり方の継承・発展、義務教育の基盤となる幼児教育の公教育体系の中での確立、学びの基礎となる力の育成、幼小連携による子供の育ちの支援、園と家庭と地域の連携による地域コミュニティーづくりの推進などのため、公立として担うべき教育環境のモデルとして、北九州市立幼稚園の発展的存続を図ること。

2 財政難を理由にした幼稚園の統廃合や民営化は行わず、3年保育の充実拡大や幼稚園における子育て支援及び預かり保育のための財政措置を行い、幼稚園教育の振興・充実を図ること。

3 発達の特徴に応じたきめ細やかな指導を行うための正規教員数の確保や幼稚園教諭免許を取得し幼稚園勤務を希望する新規採用職員の市立幼稚園への配置により、幼稚園教育環境の整備・拡充を図ること。